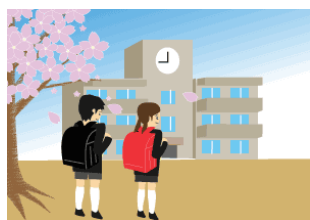


鳥取県の未来をつくる

「ふるさとキャリア教育」・「歴史授業」の  
文化財活用





# 学校教育支援プログラム 概要



学校

①地域の遺跡、出土品の教材活用や授業実践についての相談対応

埋蔵文化財センター

②埋文センター専門員による地域の遺跡、出土品を教材とした出前授業  
③土器、石器などの出土品の貸出し  
④埋文センター又は学校保有の出土品を学校内に展示  
(一定期間ケース付きで貸出し)

センターから  
学校へ

学校から  
センターへ

⑤常設展示の見学（展示は教科書準拠）、石包丁づくりなどの古代生活体験  
⑥教員向けに地域の遺跡、出土品の授業活用についての講座開催

⑦教員向けの教育センター「学校教育支援サイト」に教材研究用の資料・冊子を掲載

ホームページで



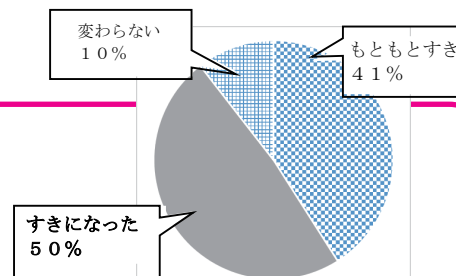
## ○「学校教育支援プログラム」の利用方法 (連絡先：埋蔵文化財センター企画研究担当)

- プログラム①～④：1週間前までに電話・メール等でご連絡ください。  
(お急ぎの場合、最短3日前でも対応いたします。)  
※特に依頼文等は必要ありませんが、プログラム③④については貸出手続きが必要となります。
- プログラム⑤：当日までに電話・メール等でご連絡ください。
- プログラム⑥：6月6日(土)、6月7日(日) 7月4日(土)、8月9日(日)に開催予定です。開催要項をご覧の上、お申込みください。
- プログラム⑦：教育センターの「学校教育支援サイト」(c4thと同回線)でご利用ください。

## ○学校教育支援プログラム活用結果 ※昨年度実施結果

### 【出前授業後の児童の感想】

- ・身近なところに遺跡があって驚いたし、自分たちの地域が歴史あるところだすごいと思った。
- ・私たちの町はすごい遺跡がある地域であることが分かり、誇りに思う。
- ・自分たちの地域で教科書に出てくる秀吉との戦いがあったことが分かり、すごいと思った。



[授業後の児童アンケート結果]  
質問：授業後、歴史の授業が好きになりましたか？

### 【出前授業後の教員の感想】

- ・授業内容に合わせて、自分も知らない地元の歴史の専門的な内容も盛り込んでもらった。
- ・教員の授業準備の労力が少なく、自分が授業をする際の参考になった。
- ・地域の教材に加え専門家の話で児童の関心意欲がいつもより高く、大変喜んでいた。

児童・生徒の  
意欲が高まる  
教員の負担軽減にも  
つながる

# ○プログラム②の活用事例

史跡青谷上寺地遺跡を教材にした授業

「むらからくにへ」の学習を地元の遺跡を教材に取り上げて授業実践

## ◇指導案を提示しての具体的な授業打合せ

【板書計画例】

むらからくにへ

弥生時代の青谷上寺地遺跡の人々の暮らしを予想しよう。



- 海に舟がたくさんある。
- 竪穴住居（家）がたくさんある。
- 高い建物がある。
- 水田がある。





舟 高い建物 水田

①舟で漁をしていた。 ②お米を作っていた。





結合式ヤス 鋤（耕す道具） 大陸製の金属製品

③すばらしい木製品 ④交流を示すもの





花弁高坏 貨幣（貨泉） 勾玉・管玉

【分かったこと】

- 今とわからないような道具で漁をしたり、お米を作ったりしていた。
- 広い範囲で各地と交流していた。

小学校第6学年 社会科学習指導案

- 本時 むらからくにへ
- 本時目標 弥生時代の青谷上寺地遺跡の人々の暮らしを調べる。
- 学習過程

学習活動	教師の支援並びに留意点
1 青谷上寺地遺跡の集落復元イラストを見て、気がついたことを発表する。 ・海に舟がたくさんある。 ・竪穴住居（家）がたくさんある。 ・高い建物がある。 ・水田がある。 (緑色と黄緑色のところがある)	1 パソコンを使ってイラストを調べる。 イラストが約1800年前の青谷上寺地遺跡の様子を復元したものであることを伝える。 むらや海の様子に注目するよう促す。
2 青谷上寺地遺跡の集落復元イラストから生活の様子を予想し、発表する。 ・①舟で漁をしていた。 ・②お米を作っていた。 ・③木の製品を上手に作っていた。 ・④いろいろな所と交流していた。	2 ①・②の発表に合わせて、ヤス・又鋤の写真を掲示する。その後、③・④に関係する出土品（花弁高坏・雲雲文鏡・貨泉・玉類）の写真を掲示し、すばらしい木製品を作っていたこと、活発に交流していたことを感じとらせる。
3 弥生時代の青谷上寺地遺跡の暮らしについて分かったことや驚いたことをまとめ、発表する。 ・今とわからないような道具で漁をしたり、お米を作ったりしていた。 ・広い範囲で各地と交流していた。	3 青谷上寺地遺跡の人々が広範囲に各地と交流していたこと、国内だけではなく海外（大陸）のものも多く入手していたことなどを押さえる。  弥生時代のむらのリーダーが交流によりいろいろなものを手に入れ、力を強めようとしたこと、県内に教科書に載っている遺跡と同等の遺跡があることなども押さえる。

## ◇いろいろなパターンの授業

縄文～平安時代のまとめの授業で出土品クイズ



答え合わせで時代順に並べた様子



相談しながら何時代か、何の道具か予想中

地域の出土品を観察して何時代の何の道具かをみんなで予想！  
答え合わせで大興奮の授業です。

学習の中で古代の道具や生活の知識がついているか確認できます。

◎教材資料

縄文時代深鉢、弥生時代甕（かめ）・石包丁・鋤  
古墳時代甕・竈（かまど）、奈良時代坏・木簡など

地域の山城を教材に「3人の武将と天下統一」の授業実践



山城合戦の疑似体験で戦国時代にお城が必要だったことを理解



秀吉の鳥取攻めに関係する地域の山城を教材にすることで、戦国時代の天下統一が身近な出来事に！

合戦疑似体験でお城の役割もしっかり理解

地域の本物の出土品を使った授業だからこそ

「主体的・対話的で深い学び」に！！



古代の技術を体験することで  
古代の生活を実感



古代人の技術を知る  
ことで、当時の人々の  
工夫や知識を理解！

失われた技術や現在  
にも残る技術を体感  
してびっくり！

「弥生のカゴづくり」では幻のヨコ添  
えもじり編みの難しさに驚く児童

「弥生の組紐づくり」で長い紐を作る  
ためのチームワークを実感する児童

### ○プログラム④の活用事例

学校にある出土品を教材として校内展示  
(展示作業は埋蔵文化財センターが実施)



校区の出土品の校内展示  
を興味深く観察する児童

ケース付きで出土品を貸出



◎貸出例  
弥生土器  
土師器・須恵器（古墳時代）  
※貸出資料はご希望に合わせて  
選んでいただけます。

### ○プログラム⑤の活用事例

「石包丁づくり体験」



弥生時代の学習で教科書に  
載っている石包丁をつくる体験です。

でき上がった石包丁で  
稲刈りをすれば気分は  
弥生人気分！

### ○プログラム⑦の事例

「学校教育支援サイト」  
(教育センター) 掲載の  
資料を活用できます。

アドレス：  
<http://kyoshien.torikyo.ed.jp/docs/198.html/>

知りたい>>授業に役立つ資料>>社会



連絡先

鳥取県埋蔵文化財センター（鳥取市国府町宮下 1260）

TEL: 0857-27-6711 FAX: 0857-27-6712

ホームページ: <https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>

## ○本県の「ふるさとキャリア教育」の考え方

### 【鳥取県の「教育に関する大綱」】（抜粋）

ふるさと鳥取に愛着と誇りを持ち、郷土を支える人財の育成のため、幼児期から高等学校までの各段階に応じたふるさと教育に取り組みます。

また、**史跡、まちなみ、建築物、郷土芸能、伝統芸能、民芸等**の様々な郷土の貴重な財産に触れたり、美しい星空をはじめとした豊かな自然に触れる機会を充実させるなど、ふるさとの良さを感じる体験や、地域や地元企業等と連携した地域課題の解決に向けた探究的な学習等を進めます。

身近な地域にある全国に誇れる国指定・県指定文化財、遺跡（例：弥生時代の遺跡、古墳、古代官衙、官道、お城など）を児童・生徒が知り、触れることで「ふるさと」の良さ、すばらしさを感じ、誇りに思うことで「**郷土愛の醸成**」を図ることができる。



培  
う

- ①ふるさとの自然、歴史と伝統を守り、受け継ごうとする姿勢
- ②地域やふるさとに誇りと愛着を持ち、その発展に貢献しようとする姿勢

こんなことも

- ・**県外に出ても、将来にわたり、ふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支える！**
- ・**ふるさと鳥取県を誇れる児童・生徒に！**

## ○歴史授業での地域文化財活用も「ふるさと教育」！！

地域の文化財（遺跡や出土品など）が学習教材になると児童・生徒にとっては生活の一部が教材となるため、実感がわきやすく、興味関心を高めることができる。



**「ふるさと鳥取」に興味を持つことに！！**

## 【「ふるさとキャリア教育」・歴史授業での地域文化財活用方針】

- ①「ふるさとキャリア教育」に特化しすぎたり、歴史授業に無理に出土品を利用したりして教科の目標とずれてしまわないような授業の組み立てをする
- ②新たな時間を使って「ふるさとキャリア教育」を実施するのではなく、通常の授業の中で「ふるさと鳥取の魅力」が感じられる教材を活用して授業実践する
- ③学習教材は、全国の歴史と結びつくものを選び、児童・生徒の関心意欲を高める



# 地域の歴史で作る「ふるさと教育」講座

主催 鳥取県教育センター・鳥取県埋蔵文化財センター

「ふるさとキャリア教育」は、「鳥取県の『教育に関する大綱』」にその重要性が謳われており、当県の教育方針の柱のひとつです。この「ふるさとキャリア教育」を実践するにあたり、地域の歴史は欠かすことのできない大切な教材です。

意外と知られていない地域の歴史を紹介し、「ふるさとキャリア教育」での活用方法をテーマにした講座です。

## 第1回 6月6日(土) 全国に誇れる鳥取の縄文・弥生時代

鳥取県の遺跡というと国史跡青谷上寺地遺跡、国史跡妻木晩田遺跡の弥生遺跡をすぐ思い浮かべるかもしれませんが、実は県内には約100の縄文遺跡、約200の弥生遺跡があります。史跡になっている遺跡を含め、身近な地域にある縄文・弥生遺跡を教材にした授業づくりをします。



弥生時代の青谷上寺地遺跡  
復元イラスト



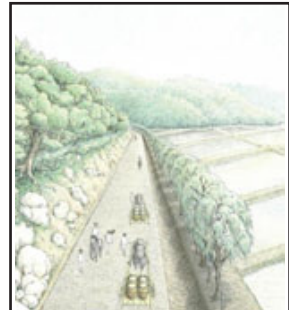
山陰最古級の前方後円墳  
本高14号墳

## 第2回 6月7日(日) 古墳時代、教科書にはなぜ前方後円墳

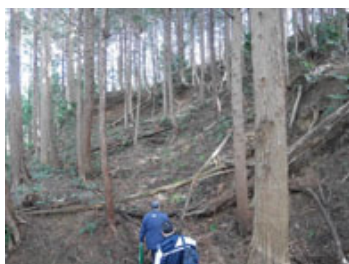
歴史の教科書には前方後円墳が古墳の代表のように紹介されています。しかし、県内の前方後円墳数は、全古墳数約13,000中、約250しかありません。このように決して数の多くない前方後円墳がなぜ、教科書に大きく取り上げられているのでしょうか？  
前方後円墳のなぜ解きをしながら、地域にある古墳を教材にした授業づくりをします。

## 第3回 7月4日(土) 意外と知らない古代行政

奈良時代、平安時代は貴族の時代と言われていますが、では貴族を支える社会体制はどのようなものだったのでしょうか。ヒントは教科書にある奈良時代の全国特産品の図にあります。教科書と地域の歴史を結びつける遺跡や出土品を教材にした授業づくりをします。



古代の高速道路 青谷横木遺跡の古代山陰道  
(左：発掘状況・右：復元イラスト)



大規模な切岸と堀  
中世の山城 狗戸那城

## 第4回 8月9日(日) 身近にある中世のお城と戦国時代

教科書の「3人の武将と天下統一」は、織田軍(羽柴秀吉)の因幡攻めを受けた当県には大きく関わりのある単元です。県内には503城もの中世のお城があり、その中には織田軍との戦いに関係した山城や地域の歴史と深く関係したお城もあります。  
意外に身近なところにある地元のお城を教材とした授業づくりをします。

全4回開催

会場：鳥取県埋蔵文化財センター

時間：13:30~15:30

※事前申込みが必要です。

右記の埋蔵文化財センターにお申込みください。

申込み先

鳥取県埋蔵文化財センター

鳥取市国府町宮下1260

TEL 0857-27-6711

FAX 0857-27-6712

<https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>